

臨床研究についての説明

研究課題名「室房ブロックを伴い持続する発作性上室頻拍の頻拍回路の診断と診断方法の探索的観察研究」

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の対象

1990年1月1日から2019年7月31日までの間に、心臓電気生理学的検査およびカテーテルアブレーションを施行した室房ブロックを伴い持続する発作性上室頻拍の患者さんが研究対象となります。

2. 研究目的・方法

室房ブロックを伴い持続する発作性上室頻拍では、上部共通路を伴った房室結節リエントリー性頻拍と、房室結節-心室間の特殊な副伝導路を介した上室頻拍の2つを鑑別することが、治療するにあたって非常に重要です。ただこれらの頻拍は稀有であり、実際の有病率も不明なばかりか、診断方法もあまり確立されていません。今回、これらの頻拍の有病率の把握と、診断基準の確立をすべく、多施設で患者さんのデータを集め、有病率の把握と診断基準の確立を目指します。

従来のペーシング手法を用いた正確な鑑別診断法の確立により、より正確なAVNRTとNV/NFを介した上室頻拍の診断が可能となり、アブレーションでの難渋や、アブレーション後の再発の低下、術時間の短縮と合併症の低減につながると期待されます。

研究期間は倫理委員会承認後から2022年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象となる患者様の過去に施行された心臓電気生理学検査中に得られた所見を調査します。具体的に

- ①研究対象者基本情報：年齢、性別、診断名
- ②洞調律時の心房・ヒス・心室間の間隔。心房・心室刺激時の房室結節二重伝導路の評価

③頻拍中の心房・ヒス・心室間の間隔。

④右室期外刺激法による心房周期およびヒス束周期のリセットの有無と、右室エントレインメントペーシングでのPPIを含んだ各種計測、頻拍停止の有無とその停止様式。

4. 主導研究機関への試料・情報の提供

主導研究機関への情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信により行います。

5. 研究組織

主導研究施設と研究責任者の氏名

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科 教育医長、准教授 永嶋孝一

共同研究施設と各施設における研究責任者の氏名

群馬大学医学部附属病院循環器内科 准教授 金古善明

日本医科大学日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科 部長・講師 丸山光紀

東京都立広尾病院循環器内科 深水誠二 北條林太郎 北村健

昭和大学医学部 循環器内科 河村光晴 宗次裕美

心臓血管研究所 循環器内科 大塚崇之

富山大学医学部 循環器内科 山口由明 絹川弘一郎

小田原循環器病院 循環器内科 熊谷賢太

岡山大学医学部 循環器内科 渡邊敦之

筑波大学 循環器内科 野上昭彦

横浜労災病院 循環器内科 小和瀬晋弥

東邦大学大橋病院 循環器内科 中村啓二郎

近畿大学医学部 循環器内科 栗田隆志

東京医科大学 循環器内科 里見和浩

東京女子医科大学 循環器内科 庄田守男 樋口諭

土浦共同病院 循環器内科 久佐茂樹

平塚共済病院 循環器内科 樋口晃司

東京医科歯科大学 循環器内科 林達哉

聖マリアンナ医科大学 循環器内科 中島育太郎

神戸大学医学部 循環器内科 高見充

国立国際医療研究センター 循環器内科 谷本耕司郎

帝京大学医学部 循環器内科 渡雄至

福井大学医学部 循環器内科 宮崎晋介
東海大学医学部付属八王子病院 循環器内科 小林義典
埼玉大学医学部 循環器内科 松本万夫 加藤律史
山梨厚生病院 循環器内科 浅川哲也
亀田総合病院 循環器内科 水上暁

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
また、患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報
の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡く
ださい。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合も
ございます。

問い合わせ連絡先：筑波大学附属病院 循環器内科 小松雄樹

住所：〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話：029-853-3143

FAX：029-853-3227

問い合わせの対応可能時間：平日 9 時から 17 時まで

-----以上